

第三次東大和市子ども読書活動推進計画

[令和5（2023）年度～令和9（2027）年度]

令和5年度実施状況報告書



東大和市観光キャラクター うまべえ

令和7年3月

東大和市教育委員会

第三次東大和市子ども読書活動推進計画

[令和5（2023）年度～令和9（2027）年度]

令和5年度実施状況の報告

◆ はじめに

「第三次東大和市子ども読書活動推進計画」（以下「第三次計画」という。）は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づき、市内の様々な機関が相互に連携し、子どもの読書環境の整備を図ることを目的として、令和5年3月に策定したものです。

第二次東大和市子ども読書活動推進計画（以下「第二次計画」という。）の施策項目を引き継いで策定された第三次計画では、施策項目ごとに具体的な取組目標及び事業内容を明記し、関係各課・機関等における必要な取組や目標を分かりやすく示して、目標実現にむけて取組みやすい計画書を目指しました。

◆ 計画の進行管理について

令和5年度は第三次計画の初年度でした。本計画に基づく施策を着実に実行していくために、具体的な取組状況を調査し、その結果を報告書にまとめ、毎年公表します。

◆ 計画の取組状況について

本計画上の所管課のうち当該事業を主管事業としている課に対し、令和5年度中の取組状況等を調査しました。計画上の主管課ですが主管事業ではない課については所管欄の課名に（ ）を付しています。

個々の事業の取組状況については3ページ以降に掲載しています。なお保育課管轄事業については、類似の回答を集約した上で回答施設数を（○施設）と掲載しました。

本調査によって明らかになった関係各課・機関等による取組実態をもとに、今後さらに関係各課が連携しあい、計画推進へつなげていく必要があります。

◆ 施策項目及び目標数

施策項目		目標数		
		充実	継続	計
1 家庭・地域	(1) 家庭	3	0	3
	(2) 保育所・幼稚園・認定こども園等の子育て関連施設	2	2	4
	(3) 児童館	1	2	3
	(4) 学童保育所	1	2	3
	(5) 保健センター	0	2	2
	(6) 子ども家庭支援センター	0	2	2
	(7) 公民館	0	2	2
	(8) 郷土博物館	1	0	1
2 学校	小中学校	3	3	6
	高等学校	0	1	1

3 市立図書館	読書環境の整備	3	7	10
	対象別サービス	3	1	4
4 子どもの読書活動を支える人たち	文庫、読み聞かせ・おはなしのグループ、学習グループ	0	3	3
5 計画の進行管理	計画の進行管理	0	1	1
合計		17	28	45

◆ 各事業における目標達成度の集計

目標達成度については、第二次計画期間中の令和2（2020）年度調査から実施している調査方法を継承し、関係各課・機関等が「順調、おおむね順調、着手、未着手、中止」の5段階で自己評価を行っています。

1 子育て関連施設の目標達成度評価回答数（保育課管轄事業）

保育課の所管事業である、施策項目1 家庭・地域（1）家庭及び（2）保育所・幼稚園・認定こども園等の子育て関連施設の施策について、市内の私立保育所・幼稚園・認定こども園等の子育て関連施設（24施設）及び市立狭山保育園から個別に回答がありました。

子育て関連施設の目標達成度別の評価回答数（施設数）は下表のとおりです。上記施策項目に対する健康推進課及び市立図書館の回答もここに含みます。

目標 (事業数) \ 評価	順調	おおむね順調	着手	未着手	中止	無回答	合計
充 実 (5)	61	30	5	3	3	27	129
継 続 (2)	22	15	2	6	0	5	50
計	83	45	7	9	3	32	179

2 子育て関連施設の目標達成度評価以外の評価回答数

保育課管轄事業以外の目標達成度評価回答集計結果については下表のとおりです。

複数の所管課・施設で管轄している同一事業があるため、事業数と回答数の合計は一致しません。

目標 (事業数) \ 評価	順調	おおむね順調	着手	未着手	中止	合計
充 実 (12)	5	7	1	0	0	13
継 続 (26)	14	10	3	0	0	27
計	19	17	4	0	0	40

1 家庭・地域

(1) 家庭

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア 家庭での読み聞かせ	幼い子どもが本の楽しさを知り読書習慣を身に付けていくためには、身近な家族に本を読んでもらうことが効果的である。	保育課	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより等で月刊絵本や季節の絵本を紹介したり、絵本の展示・紹介を行い、家庭へのはたらきかけを行っている。(8施設) ・身近な家族に絵本を読んでもらう大切さを保護者会やクラスだより等で知らせている。(2施設) ・懇談会等で絵本の紹介と読み聞かせを促している。(2施設) ・子どもたちの誕生日に年齢に合った絵本をプレゼントしている。(3施設) ・絵本の貸出を行っている。 ・教材として毎月、月刊本を取り寄せ、園で読み終わったら持ち帰りしている。家でも親子で読んでもらっている。 ・毎月季節の絵本を家庭に持ち帰っている。 ・入園児に、年間購読絵本の購読を紹介している。 ・今後検討していきたい。 	充実	順調 (8施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施、紹介することができている。(6施設) ・絵本を通じた関わりについて今後も促しを継続していく。 ・保護者は、子どもの興味ある絵本などに興味を持ち、家庭に取り入れている様子が見られる。
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の内容を劇遊びで楽しみ、深くお話に親しむことで、家にも同じ絵本がほしいという子どもたちが多くみられた。子どもたちの様子や絵本のことを保護者に伝え、実際に絵本を入手し、家庭で読み聞かせをしているという家庭が増えた。 		おおむね順調 (7施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施、紹介することができている。(4施設) ・プレゼントの絵本を読んでもらって楽しかったなど感想が聞かれる。 ・随時紹介している。 ・絵本を常に見る機会が保たれている。 ・家庭状況が異なる。
		中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館の絵本コーナーの本を新規購入等で随時入れ替えを行い、充実させた。 		着手 (1施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進という視点からのみで働きかけを行うことは、それほど積極的に行っていない。
					未着手 (1施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・理由記入なし
					無回答 (7施設)	
					おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の取組を通して、家庭でも絵本に親しむ機会が増えた。家庭で入手した絵本は、子どもたちにとって愛読書となり、セリフとして覚えるくらい何度も読んでおり、保護者からも好評であった。
					順調	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本コーナーの入れ替えを継続して行うことができた。
イ 市立図書館等の利用	市立図書館や文庫を家族で利用することで、家庭での読書環境を整える。また、子ども自身が本を借りることで主体的な読書習慣が身に付く。	保育課	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児・5歳児は図書館見学、おはなし会参加、本の貸出等で市立図書館を利用している。(4施設) ・保護者に図書館利用の働きかけを行っている。(3施設) ・絵本・紙芝居・大型絵本等を借りている。 ・各ご家庭で、図書館の利用をしている。(2施設) ・今後検討していきたい。 ・園としてはコロナ禍で積極的利用は自粛していた。 ・利用なし。 	充実	順調 (5施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施することができている。(2施設) ・絵本だけでなく、大型絵本や紙芝居、変化をつけ利用する事ができている。
					おおむね順調 (4施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・すくわく^(注)の取組で図書館の利用を考えている。貴重な社会資源であること意識を持っている。 ・地域的に利用しやすい家族の利用や休日を過ごす場所として利用している家庭もある。 ・年齢が低いため利用頻度が低い利用者数は増加傾向にある。 ・状況に応じて行くので、継続して行いたい。
					着手 (1施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進という視点からのみで働きかけを行うことは、それほど積極的に行っていない。
					未着手 (1施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩圏内で利用できる図書館がないため。
					中止 (1施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・一時的に中止していた。
					無回答 (12施設)	
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会に参加したり、プリントを家庭等に配布しPRを行った。 		おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会に参加し、家庭にもプリントを配布し促すことで、よく足を運ぶ方もいた。
		中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート時に市立図書館の子ども用の利用登録申込書を配布し、図書館利用を促した。 ・小学校3年生の中央図書館見学会等で個人の利用カードの登録を行った。 		順調	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートでの利用申込書配布や図書館見学会での利用登録を継続することができた。

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ウ 乳幼児期の子どもがいる家庭への働きかけ	関係機関や保育所等、直接家庭に関わることのできる機関が、家庭での取組を継続して後押しする体制を作る。	保育課	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスだより、ホームページ、懇談会等で子どもたちの興味・年齢、季節に合った絵本や図鑑等の紹介を行っている。(7施設) ・月間購読絵本の紹介。日々のホームページ更新や保護者との連絡アプリを使っての配信、連絡帳、保育懇談会で子どもがいま興味をもっている絵本の紹介をした。 ・読書週間には、必ず新規図書を購入している。また、担任が選択したお薦め図書を保護者に知らせたり、子どもの好みの絵本などの紹介をしている。 ・子ども家庭支援センターに置く法人作成のおたよりで絵本に触れることの素晴らしさを随時伝えている。時にお勧めの本の紹介もしている。 ・園文庫はコロナ禍中自粛(閉鎖)していたが、令和5(2023)年4月から再開。 ・貸出図書を通して子どもたちが今何が好きか、などコミュニケーションを取り新しい絵本などを紹介している。 ・文庫を利用した絵本の貸出を行っていたが、コロナ禍以降再開できていない。 ・実施している。 ・家庭での取組を継続できるようにしたい。 ・毎月季節の絵本を家庭に持ち帰っている。 ・今後検討していきたい。子育て講演会を開催して参加を呼び掛けた。 	充実	順調(7施設) おおむね順調(4施設) 着手(2施設) 未着手(1施設) 中止(2施設) 無回答(8施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して紹介することができている。(6施設) ・各クラス用だけでなく、給食室や看護師なども食育や保健指導に利用できる図書の購入も進め、様々な形で保護者が興味を持てるようにしている。 ・絵本に触れた時の子どもたちの様子を都度知らせており、その大切さを共有できている。 ・年齢やクラスにあった絵本の紹介をしている。 ・就寝前のルーティンになっている家庭が多い。 ・定期的の実施できている。 ・定期的の実施したい。 ・これから実施していきたい。 ・一時的に中止していた。 ・絵本の貸出が再開できるよう取組み方を検討していきたい。 ・確認してはいないため。
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で0~2歳児を子育て中の親子等を対象とした園行事において、赤ちゃん絵本を紹介したり、子どもが直接絵本を手にとって楽しめる場を提供した。また、子どもが本を破いてしまうといった保護者からの相談に、年齢に応じた絵本の紹介や子どもの発達について説明し、対応した。 		おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施できている。
		健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・3~4か月健診等においてブックスタートとして絵本等を配布した。健診時配布者：479人 		おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・健診事業を活用することで、子育て家庭に対して、効率的に絵本等が配布できたため。
		中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートや講習会を通して、家庭での読み聞かせの重要性を伝えた。 ・市立図書館で乳幼児向けのおはなし会を実施した。 中央：10回 延参加者数 73人(保護者含む) 桜が丘：20回 延参加者数 215人(保護者含む) 清原：21回 延参加者数 117人(保護者含む) 		順調	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート時の情報提供を継続して行うことができた。 ・市立図書館で乳幼児向けのおはなし会を継続して行うことができた。

(注)「すくわく」：「とうきょう すくわくプログラム」は、すべての乳幼児の「伸びる・育つ(すくすく)」と「好奇心・探究心(わくわく)」を応援する幼保共通のプログラムです。幼稚園や保育所といった施設類型の垣根を越え、主体的・協働的な探究活動を通じ、子供の豊かな心の育ちをサポートします。

(出典：東京都生活文化スポーツ局ホームページ

<https://www.kodomoseisaku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kodomoseisaku/sukuwakuprogram>)

(2) 保育所・幼稚園・認定子ども園等の子育て関連施設

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア 読み聞かせ等の継続・充実	日々の活動の一環として、また、行事に合わせて、絵本や紙芝居の読み聞かせを継続して行い、絵本等と親しむ機会を増やす。 個々の子どもに合わせた読書活動を行う。	保育課 (中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常保育の中で季節や行事、目的、子どもの興味・関心に合わせた絵本・紙芝居の読み聞かせを行っている。(16施設) ・基本、文学の授業として、素ばなし絵本は個々に読んであげている。また、午睡前に読み聞かせをしている。(2件) ・日々行う読み聞かせを通して、絵本や物語の楽しさを感じられるようにすることにも取り組んでいる。 ・日々の活動では、必ず子ども自身が好みの絵本を読む時間を設定し、季節、行事、発達に合わせた絵本や紙芝居の読み聞かせをしている。年間購読本、新規図書を購入している。 ・午睡前や子どものリクエストに応じて読み聞かせを実施。食育などの導入として読み聞かせを実施。 ・乳児・幼児ともに絵本の読み聞かせは、自由あそびのなかで個人的に行っている。幼児は素ばなしや道具を使った文学の集団活動を毎月数回行っている。乳児はわらべうたや詩・語呂合わせを個人的に行っている。2歳児クラスでは道具を使った短いおはなしを聞く活動を取り入れている。 ・活動に取り入れている。 ・個別でスキンシップを図る手段になっていたり、午睡前に読む習慣がついている。 ・季節や子どもの興味、関心に合った絵本を本棚に揃え紹介している。 ・各年齢に合った絵本や紙芝居をクラスに用意し気軽に読めるようにしている。 ・本を読むスペースを確保している。 ・おはなし会ボランティアの定期的な訪問があり、読み聞かせを楽しんでいる。 	充実	順調 (21施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施できている。(14施設) ・継続して取組むことができ、好んで本を読む子どもたちの姿もある。 ・毎日、午睡前には必ず絵本や紙芝居を読み聞かせている。 ・保育の場面転換や午睡前など、継続して読み聞かせの充実を図った。 ・おはなしを聞いた後の再現遊び等の姿が見られる。 ・ボランティアの読み聞かせも継続してたくさんの本に触れる機会を設定している。 ・子どもたちは、絵本や紙芝居を身近に感じている。自分の好みの絵本や紙芝居を見つけ、日々の生活の中で、読書する習慣が身につけてきている。
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の中で絵本だけでなく紙芝居を読むなど、お話に触れる機会を持っている。 ・市内の絵本作家から絵本の寄付の申し出があり、いただいた絵本を各クラスに配置した。 		おおむね順調 (3施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施できている。 ・おはなし会ボランティアの定期的な訪問が長く続いている。子どもたちの楽しみの一つになっている。 ・子どもたちはよく絵本を読む機会がある。
イ 読書環境の整備	各施設で絵本や紙芝居等の充実を図り、子ども・保護者・保育士が気軽に手に取ることのできる環境を整備する。	保育課 (中央図書館)	<p>【絵本・紙芝居の購入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に絵本・紙芝居等を購入している。(6施設) ・年齢・興味関心に合った絵本・紙芝居等を購入している。(3施設) ・絵本の入れ替え、新刊の購入、希望する絵本を購入している。 ・絵本購入の反省・計画を基に購入。 <p>【本棚・絵本コーナーの設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラス・保育室等の子どもたちの手に届く場所に本棚・絵本コーナーを設置している。(12施設) ・子どもたちの目の高さに合わせて本棚を設置する等、子どもたちが手に取りやすい配慮をしている。(2施設) ・共有スペースに本棚を設置している。(2施設) ・大人が読み聞かせるための本(本棚)、子どもが自分で選んで読める本(本棚)を設置している。 ・定期的に本棚の中身を入れ替えている。 	充実	順調 (17件)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施、購入することができている。(11施設) ・毎週家庭への絵本の貸出を実施している。 ・貸出日を楽しみにしている。季節に合わせて絵本の入れ替え等している。また、園だよりを通して新刊絵本の紹介をしている。 ・紙芝居や絵本の入れ替えも行っている。 ・子どもたちは、日常的に本棚に行き自分で選び読み、読み聞かせを要求する姿も見られる。読書週間は、保護者が自由に手にする事ができるようにしている。 ・絵本コーナーを拡充して、落ち着いて絵本に親しむ環境を整え中。 ・スペース的な事もあり、十分に用意はできないが、入れ替えを心がけている。
					おおむね順調 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して購入を行っている。 ・紙芝居、絵本等定期的に購入紹介をしている。 ・園内での取組は継続して実施できている。家庭へ向けての取組が課題となる。 ・毎月変わる絵本展示を楽しみにし、玄関スペースのベンチに座って読んでいる。保護者に向けた促しの環境整備には現在至っていない。 ・新しい絵本に気づき読んでいます。 ・季節により絵本を入れ替えたりできている。

			<p>【家庭への働きかけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本を廊下・玄関スペース等に展示して保護者に紹介している。(3施設) ・個人持ちの月間購読絵本を購入していただき園で指導後に持ち帰り親子でも楽しんでいただいている。 ・読書週間には、必ず保護者向けに図書を紹介している。 ・毎週家庭への絵本の貸出をしている。 ・保育園内に貸出図書を設置し、図書館になかなか行けない家庭にも気軽に本を読み家で読める環境を作っている。 ・家庭への絵本の貸出事業は新型コロナウイルス感染症以降再開できていない。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新園舎になり、絵本や指導書などの整備を行い、一室にきれいに整頓したところである。 ・紙芝居は使用していない。 		着手(1件)	・今後より多くの方に手に取って頂けるよう、活用方法を模索していく。
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本コーナーをクラスの中に設置し、すぐ手に取れたり、ふれあえるようにしている。 ・担任が用意した本を、保育で子どもたちに提供し興味関心を広げ親しむことができた。 		おおむね順調	・本の整理をしたり、月刊購入をして、子どもが読みたくなるように本棚に並べて選べるようにし、楽しめている。
ウ 関係機関との連携	市立図書館に親しむ機会を積極的に作る。	保育課 (中央図書館)	<p>【図書館見学・おはなし会等の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長児が図書館見学に参加している。(8施設) ・年長児が図書館見学の際に1冊ずつ好きな本を選び借りる体験をする。 ・年長クラスになると年に2回みんなで図書館に行く機会がある。 ・年長児が1クラスずつ順番に近隣の図書館訪問を行っている。 ・図書館に訪問し、お話し会参加、貸出を利用している。(2施設) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラスでは年に数回利用している。 ・図書館訪問を毎年行い、学期毎に団体貸出を利用している。 ・必要に応じ利用を継続したい。 ・園として借りている。 ・保育園が奈良橋地域に移転し中央図書館が近くなったので利用するように考えている。 ・年長児の図書館見学以外にすくわくでの利用を考えている。子どもたちの職業探索で図書館の司書もテーマにあげていく。 ・年齢的に困難なため集団で行くことは難しい。(2施設) ・図書館利用なし。(2施設) ・提携園が近くにあるため、図書館利用より、提携園の図書を借りることを積極的に行っている。 ・今年度の実施は無かった。今後機会があれば作っていく。 	継続	順調(10施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して連携することができている。(7施設) ・積極的に年長児が図書館へ足を運んでいる。 ・図書館に行くことはできないが、絵本など長期間借りる事ができるので助かっている。
					おおむね順調(5施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して連携することができている。(2施設) ・利用頻度はそれほど高くない。必要に応じて利用している。図書館見学会には毎年年長児が参加し、良い体験になっている。 ・状況に応じて行っているため継続して行いたい。 ・保育園が移転し清原図書館より中央図書館が近隣の図書館となり、新青梅街道を渡らなければならないので引率の関係で回数が少なくなった。
					着手(1施設)	・すくわくで図書館を有効的に活用していく予定。
					未着手(5施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施のため。 ・年齢も低く、大人数を連れて図書館に行く状況にない。 ・年齢的に困難 ・0・1歳児のため図書館へ行くことが難しい。 ・コロナ禍以降、遠方への散策は控えている。提携園の蔵書は充実しているので、当面はそれを利用したいと考えている。
					無回答(3施設)	
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館までは距離があるため、園から近い狭山公民館の図書室をくり返し利用した。 		おおむね順調	・子どもたちと利用しやすい図書室で、好きな本を自由に選んでいた。

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
工 保護者との 連携・働き かけ	読み聞かせや読書の 大切さ、意義について 保護者に対し広く周知 する。	保育課 (中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラスだより、保護者会等で、人気の本やおすすめの絵本等を紹介したり、絵本に親しむことの大切さを知らせている。(10施設) ・登降園時やホームページ、連絡帳、クラスだよりを通して、子どもや保護者の興味がある本、保育で使用している本や内容を紹介した。 ・懇談会や日頃の会話から情報提供を行う。 ・日々の登降園時に子どもたちが興味ある絵本や紙芝居を紹介する他、読書週間に図書を紹介含めて伝えている。 ・毎月季節にあった物を紹介している。読書週間などはおたより等で薦めている。 ・毎月絵本を持ち帰っている。 ・玄関におすすめの本を紹介している。 ・おすすめした本の貸出を行っている。 ・貸出図書を通して子どもたちが何が好きなのかなど話す機会が増えた。 ・行事の由来など、絵本、紙芝居を通して行っている。 ・3・4・5歳児を対象に読み聞かせの方をお招きし、おはなし会を定期的を実施。 ・子育て講演会を開催して「親子で楽しむ絵本」の意義や大切さについて学んだ。 ・乳幼児期からYouTube等画像での世界に接し、自分の考えに沿って見たり聴いたり想像する機会が少なくなり、絵本、おはなしの機会を大切にしたいと働きかけている。 ・懇談会や園だより等でお伝えしたい。 ・園での文学活動のねらいや活動内容の周知は行っている。読み聞かせや読書の大切さを直接的に周知することはしていない。 	継続	順調 (12施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施、働きかけをしている。(11施設) ・おはなし会の様子をドキュメンテーションで保護者に伝えている。
					おおむね順調 (8施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施、働きかけをしている。 ・絵本に触れた時の子どもたちの様子をドキュメンテーションで知らせている。 ・子どもが好きな絵本などを保護者の方と共有を図っている。 ・保護者とのコミュニケーションの場になっている。 ・読書週間以外も、玄関に絵本展示をすることがあるが、意図的に掲示する読書週間中が保護者の視線を集めやすいので、充実させたい。 ・ボランティアによる読み聞かせの会を立ち上げる準備をしている。 ・毎回の実施ではない。 ・家庭ではスマホ、YouTubeと、保護者が簡単に与えてしまうことに対して、なかなか絵本の良さを伝えきれていない。
					着手 (1施設)	・理由記入なし
					未着手 (1施設)	・園の保育内容や活動について理解してもらうことを優先的に行っている状況。
					無回答 (2施設)	
		おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが、本のセリフを覚え、自分で読むことができたと喜んでいる保護者もいる。 			
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・保育で使用した本を家でも読んでほしいという子どもたちが多く、その様子を保育士から保護者に伝えた。家庭によっては本を入手し、子どもの愛読書となっている。 			

(3) 児童館

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア 読書環境の整備	幅広い分野の本を揃え、子どもの読書要求に応える。	青少年課 (中央図書館)	・施設内書籍の充実	充実	順調	・新規図書の購入及び市立図書館の除籍資料の活用を行った。児童館利用者のニーズに合わせた図書の購入ができた。
イ 読書事業	子どもの年齢に合わせて、子どもや保護者が本に親しむ機会を作る。	青少年課 (中央図書館)	・児童館職員やボランティア、乳幼児サークル指導員による読み聞かせの実施	継続	順調	・乳幼児、小学生を対象に実施した。絵本に対して興味を持つ児童が増えた。
ウ 関係機関との連携	子育て支援事業の一環として、市立図書館との連携を図る。	青少年課 (中央図書館)	・乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせ、絵本に関する情報提供	継続	順調	・家庭で読み聞かせをしている保護者が多く、読み聞かせのポイントや注意点の説明を受けられる場として有効だった。

(4) 学童保育所

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア 読書環境の整備	幅広い分野の本を揃え、子どもの読書要求に応える。	青少年課 (中央図書館)	・施設内図書の充実	充実	おおむね順調	・昨年度に引き続き、施設内書籍の充実を行った。
イ 読書事業	日々の保育の中で、読書を取り入れることを心がける。	青少年課 (中央図書館)	・学校休業中などの一日保育時に委託事業者による、児童への読み聞かせを実施。	継続	おおむね順調	・委託事業者による、読み聞かせを実施した。
ウ 関係機関との連携	市立図書館との連携を図り、読書環境の充実に努める。	青少年課 (中央図書館)	・市立図書館の団体貸出の利用	継続	おおむね順調	・毎月、各クラブで50冊程度利用している。

(5) 保健センター

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア ブックスタート事業の継続	子どもが本に親しむための事業等を継続する。	健康推進課 (中央図書館)	・3~4か月健診等においてブックスタートとして絵本等を配布した。健診時等配布者：479人	継続	おおむね順調	・健診事業を活用することで、子育て家庭に対して、効率的に絵本等が配布できたため。
イ 関係機関との連携	保護者に読書への関心を高めてもらえるよう働きかける。	健康推進課 (中央図書館)	・健診事業で紹介等ができるよう検討した。	継続	着手	・健診事業を活用することで、子育て家庭に対して、絵本や図書館の案内ができるため。 ・図書展示等については、健診時のレイアウト等を加味しながら検討中。

(6) 子ども家庭支援センター

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア 読み聞かせ や貸出事業 の継続・充 実	子どもと保護者が本 に親しむ環境づくりに 努める。	子ども家庭支援 センター (中央図書館)	・交流スペース「かるがもひろば」では、イベント時や ボランティアが地域活動として絵本の読み聞かせを行っ た。また、絵本コーナーを設置し、絵本の貸出も行っ た。絵本貸出：18冊 利用人数：14人。 ・一時保育室では蔵書に加え、市立図書館の団体貸出を 利用して常時、絵本や紙芝居を30～40冊ほど準備してい る。朝の会、昼食や午睡の前及び3時の会で1回につき、 季節や利用児童の年齢・活動に合わせ、2、3冊の絵本の 読み聞かせ、紙芝居、わらべうたや童謡を歌うなどを 行った。また、当日読んだ絵本を室内に展示し、合わせ て曲名と絵本の書名を連絡票に記載し、家庭との共有に 努めた。 ・出張かるがもひろばでは、ボランティアや担当保育士 による絵本の読み聞かせを実施し、保護者にも読み聞か せを働きかけた。	継続	順調	・交流スペース及び一時保育室の活動を通じて、適宜、絵本の読み聞かせや保護 者への普及啓発を図ることができた。
イ 関係機関と の連携	市立図書館や、ボラ ンティアとの連携を図 る。	子ども家庭支援 センター (中央図書館)	・一時保育室では子ども家庭支援センターの蔵書に加 え、図書館の団体貸出を利用して、絵本等を用意してい る。 ・れんげ保育園、れんげ南街保育園、れんげ桜が丘保 育園の職員が来館して実施する「わくわく保育」での絵本 の読み聞かせも実施した。年間6回実施し、38組、79人が 参加した。 ・かるがもひろばでのイベントや出張かるがもひろばの 場で、文庫等と連携して読み聞かせを実施した。	継続	順調	・関係機関やボランティアと連携して絵本の読み聞かせや保護者への普及啓発を 図ることはできた。

(7) 公民館

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア 読書環境の 整備	子どもたちの読書活 動に繋がる事業に取組 む。	中央公民館 (中央図書館)	・寄贈本を蔵書として受け入れ、資料の充実を図った。 (蔵敷) ・蔵敷あそび広場で11回、子どもフェスティバルで1回読 み聞かせを実施した。(蔵敷)	継続	着手	・寄贈本の受け入れを行った。(蔵敷) ・蔵敷あそび広場の読み聞かせは令和4年度から継続できた。また、子ども フェスティバルの読み聞かせは令和5年度から再開できた。(蔵敷)
イ 関係機関と の連携	市立図書館や読書に 関する自主グループと の連携を図る。	中央公民館 (中央図書館)	・蔵敷あそび広場の読み聞かせで、図書館から資料の協 力貸出を受けた。(蔵敷) ・講座に関する図書展示を図書館に依頼した。(蔵 敷)	継続	着手	・蔵敷あそび広場の読み聞かせで図書館から資料の協力貸出を受けた。(蔵 敷) ・講座に関する図書展示を図書館に依頼し、実施した。(蔵敷)

(8) 郷土博物館

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア 読書環境の 整備	子どもたちの読書活 動に繋がる事業に取組 む。 市立図書館との連携 を図る。	郷土博物館 (中央図書館)	・学校授業で絵本の読み聞かせを行ったり、博物館講座 等終了時に参考となる図書の紹介を行っている。 ・市立図書館と連携した図書の展示は行わなかった。	充実	着手	・企画展示開催時には、会場内で展示に関連する絵本、写真集等を展示し学習 効果を高めた。 ・博物館で所管する図書を利用したため、図書館との連携まではいかなか った。

2 学校

(1) 小中学校

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア 読書習慣の 定着	児童・生徒に読書を身近に感じてもらえるよう努める。	教育指導課 (教育総務課) (中央図書館)	・読書週間、読書月間の実施等(小学校10校中学校5校)朝読書や読書旬間の期間を設けて、読書週間の定着を図った。	継続	おおむね順調	・各学校の実態に応じて、適切に実施されていたため。
イ 読書指導の 充実	読書をしない児童・生徒に対し、読書意欲が向上するような取組を行う。	教育指導課 (教育総務課) (中央図書館)	・教師や、児童・生徒による本の紹介等を通じて、児童・生徒が本に親しむことができる活動を実施した。	充実	おおむね順調	・各学校の実態に応じて、適切に実施されていたため。
ウ 調べ学習への 取組	学校図書館の資料を活用した調べ学習に対応するために、幅広い資料を収集する。また、インターネットも含め、情報収集の能力を育てる。	教育指導課 (教育総務課) (中央図書館)	・調べ学習を行う際に学校図書館等の資料を活用した。	充実	おおむね順調	・各学校の実態に応じて、適切に実施されていたため。
工 学校図書館 の整備	「学校図書館5か年計画」等を参考に、学校図書館の整備、充実を図る。 児童・生徒の興味・関心に応じた資料や、調べ学習に必要な資料の収集・除籍により蔵書構成を充実させ、学校図書館標準を達成する。	教育総務課	・既存図書の見直しを行い、児童・生徒の興味・関心に応じたものを新たに選書した。 ・調べもの学習を最新の情報が載った書籍でできるよう、授業にあった書籍を選定した。 ・生徒が本を選びやすいように、書架を整備し、配置を工夫した。	充実	おおむね順調	・学校図書館標準の達成に向け、蔵書構成を充実させた。
		教育指導課 (中央図書館)	・児童・生徒の興味・関心に応じた資料や調べ学習に必要な資料の収集や除籍等の実施。また、児童・生徒の興味を引き出す図書展示の工夫。		おおむね順調	・各学校の実態に応じて、適切に実施されていたため。
オ 他機関等との 連携	市立図書館と連携し、児童・生徒の読書環境の向上を図る。 図書管理システムによる学校図書館運営の効率化を図る。	教育総務課	・「サポートデスクによる図書管理システムの保守」については、図書管理システムのサポートデスクと保守契約をした。	継続	おおむね順調	・保守契約により図書管理システムを使用して、図書の検索や貸出の管理等、学校図書館の運営について、効率化が図られた。
		教育指導課 (中央図書館)	・市立図書館の出前おはなし会や見学会等を実施した。また、小学校図書部会や学校図書館活用推進委員会等で、市立図書館職員や他校の司書教諭、図書館指導員との情報交換を図った。		おおむね順調	・市立図書館との連携が図ることができ、各校の取組や工夫等を共有することができたため。

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
力 読書活動を 支える人材	司書教諭、図書館指導員を中心に、学校全体として児童・生徒の読書活動を支える。	教育指導課 (教育総務課) (中央図書館)	・各学校において、司書教諭と図書館指導員の連携及び教職員との連携を図った。	継続	おおむね順調	・各校において、学校図書館に関する取組について、司書教諭をはじめ図書館指導員及び教職員間で連携を図ることができていたため。

(2) 高等学校

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア 読書環境整備	学校図書館に生徒の興味関心のある資料を収集し、生徒が気軽に利用できる環境を整備する。 生徒の市立図書館利用の促進を図る。	中央図書館 (各高等学校)	・市内の高等学校へ、市立図書館職員がおすすめする本のリストを年2回配布した。	継続	おおむね順調	・リストの配布を継続して行うことができた。

3 市立図書館

(1) 読書環境の整備

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア 全域サービス	市立図書館から遠い地域へのサービスの拡充を図る。	中央図書館	・「公共施設受取サービス」を開始し、予約した資料を公民館や市民センターで受け取ることができるようになった。	継続	順調	・図書館から遠い地域に住む利用者への利便性が向上した。
イ 子ども読書活動の支援	学校や関係機関と連携し、子どもに本の楽しさを伝えるための活動に対する支援を継続する。	中央図書館	・学校や学童へ団体貸出を行った。 ・学童へ毎月50冊ずつ配送を行った。 ・学校等で読み聞かせを行う人を対象に読み聞かせ講習会を実施した。参加者：21名 ・育児に関わる男性を対象に講習会「読みメンになろう！」を実施した。参加者：4組8名 ・児童館からの依頼により、出前講習会で絵本についての講習を行った。 ・図書館でのわらべうたのおはなし会でボランティアを養成するための講座「子どもたちにわらべうたを」を実施した。 ・市内の子どもの読書に関わる団体の活動をまとめた「子どもの読書に関わる団体活動報告書 令和4年度」を作成した。 ・東大和文庫連絡会が毎月行う例会を中央図書館で行い、担当職員が毎月参加し情報交換を行った。また、共催で講演会「子どもたちと本をつなぐ」を実施した。 ・児童館等へ市立図書館の除籍資料を譲渡した。	継続	順調	・学校や児童館等の関係団体への支援を継続することができた。 ・子育て中の方に対する支援を実施することができた。
ウ 図書資料の充実	子どもたちがより良い本と出会えるよう、内容や装丁等細かいところに留意しながら丁寧に選書を行い、資料の収集と保存に努める。	中央図書館	・収集方針に基づき資料の選定を行い、蔵書の充実を図った。 ・学習マンガの資料の購入をすすめた。	充実	順調	・毎週の選書会議を中心に、計画的に資料の購入をすることができた。
エ 職員	子どもと本を結び付けるための要となる児童サービス担当職員の専門性の向上に努める。	中央図書館	・都立図書館等で行われた外部研修や、内部での勉強会に参加した。	充実	順調	・研修や勉強会に参加することで、研鑽を積むことができた。
オ 広報活動	多方面からの事業や資料の情報の発信を行い、子どもたちの市立図書館利用を促進する。	中央図書館	・子ども向けの利用案内やおはなし会等の行事のチラシ等の配布、ポスター掲示を行った。 ・市立図書館ホームページ内の「こどもページ」を必要に応じ更新した。 ・展示本の紹介や行事のPRを市公式SNSに掲載した。 ・各館で図書展示を随時行った。	継続	順調	・利用案内やチラシの配布を継続して行い、必要に応じて更新した。 ・季節や時事に合わせた展示を行うことができた。

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
力 おはなし会	子どもが、本やおはなしの世界に親しめるよう、ボランティアと協働しておはなし会を実施する。	中央図書館	・各館で対象年齢別におはなし会を実施した。 中央： 1歳前後 10回 73人 4歳～小1 24回 111人 小2以上 24回 157人 大人 12回 198人 桜が丘：3歳以下 20回 215人 3歳以上 13回 111人 4歳以上 23回 206人 清原： 3歳以下 21回 117人 4歳以上 25回 76人 大人 12回 39人	継続	順調	・各館で継続しておはなし会を実施することができた。 ・中央図書館では大人のためのおはなし会を新たに開始した。
キ 市立図書館見学会	子どもたちに市立図書館や本に親しみを持ってもらえるよう、市立図書館の見学会を行う。	中央図書館	・保育所・幼稚園年長児対象の市立図書館の見学会を実施した。 中央： 14園 396人 桜が丘： 1園 30人 清原： 4園 184人 ・小学校3年生対象の中央図書館見学会を実施した。10校 622人 ・清原図書館で小学校2年生対象の見学会を学校からの依頼により実施した。 1校 56人 ・清原図書館に、小学校一校が読書旬間に合わせてクラスごとに来館し、本の貸出を行った。	継続	順調	・中央図書館、清原図書館の見学会は継続して行うことができた。 ・桜が丘図書館で初めて見学会を実施することができた。
ク ブックリスト	東大和文庫連絡会と協働で作成した、年齢に合わせた絵本のリストを配布する。 市立図書館職員がおすすめる本のリストを作成・配布する。	中央図書館	・年齢に合わせた絵本のリストを、希望者に配布した。 ・市内小中学校および高等学校へ、市立図書館職員がおすすめる本のリストを年2回配布した。	継続	順調	・リストの配布を継続して行うことができた。
ケ 子どもの居場所づくり	子どもたちが気軽に図書館を利用できる環境を整える。	中央図書館	・子どもたちが自由に本を選び、読書ができるよう、随時本の入れ替えなどを行った。 ・誰もが安心して過ごせるような雰囲気作りを心掛けた。	継続	順調	・子どもたちが安心して市立図書館を利用できる環境を整えることができた。
コ 関係機関との連携	子どもが本と出会う機会を増やせるよう、関係機関と連携を図る。	中央図書館	・3・4か月健診時のブックスタート事業に図書館職員が出向いて説明を行った。 ・市内の小中学校の教職員向けに市立図書館の利用案内を配布した。 ・小学校図書部会との交流会に出席した。 ・学校からの依頼による団体貸出 99件 3179冊 ・学校からの依頼により、出前のおはなし会やブックトークを行った。 3校 4回 ・学童へ毎月50冊ずつ配送を行った。 ・児童館からの依頼により絵本の講習会を行った。	充実	順調	・子どもの読書環境を整えるために関係機関と連携を図った。

(2) 対象別サービス

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
ア 乳幼児	小さなころから絵本に親しんでもらえるよう、乳幼児の周りにいる大人への働きかけを積極的に行う。 親子で安心して過ごせる環境を整える。	中央図書館	・3・4か月健診時に、保護者に絵本の読み聞かせについて話をしながら絵本等を手渡した。 ・乳幼児向けのおはなし会を各館で実施した。 ・乳幼児向けの絵本を随時購入した。 ・桜が丘図書館では、乳幼児親子向けに「さくらがおか赤ちゃんサロンへようこそ」を実施した。 ・清原図書館では、おはなしの部屋が空いているときは開放し親子で楽しんでもらえるようにした。	充実	順調	・乳幼児とその保護者に向けて、絵本を楽しんでもらえるよう働きかけを行うことができた。
イ 小学生	自分で本を読み、選ぶようになった子どもたちの手助けをし、本と出会う機会を増やす。 学校との連携を深める。	中央図書館	・子どもたちの興味に応えられるように、幅広い分野の資料を収集した。 ・1日図書館員を各館で実施した。 中央： 7人 桜が丘：2人 清原： 1人 ・その他小学生対象の行事を地区館で実施した。 ・Logoフォームを利用した学校からの団体貸出の受付を開始した。	継続	おおむね順調	・Logoフォームの利用により、団体貸出の受付が効率的にできた。 ・新1年生向けのチラシの配布ができなかった。
ウ ヤングアダルト（中高生）	児童書から一般書への移行時期となる世代に向け、充実した読書ができるよう働きかける。 同世代のコミュニケーションの場となるよう努める。	中央図書館	・市内中学校からの依頼により、職場体験を受け入れた。 中央： 3校 7人 桜が丘：1校 1人 清原： 1校 2人 ・ビブリオバトルを実施した。 発表者：8人（中学生） 観戦者：47人 ・令和5年12月～令和6年3月に中学生以上のレファレンス室での自習利用の試行を行った。	充実	おおむね順調	・市内中学校からの依頼により職場体験の受入を継続した。 ・ビブリオバトルの実施により若い世代の読書への興味を高めた。 ・中央図書館レファレンス室の自習利用の試行を継続し、中学生以上の学習機会を援助した。 ・新1年生向けのチラシの配布ができなかった。
エ 特別な配慮を必要とする子ども	本を読むことに支援が必要な子どもたちに対し、読書の楽しさを伝える。	中央図書館	・点字つき絵本や布の絵本、LLブック等を新規に受け入れ、貸出を行った。 ・外国語で書かれた資料の受け入れ、貸出を行った。	充実	おおむね順調	・サービスのPRがあまりできなかった。 ・手話付きおはなし会を含むユニバーサルサービスPRイベントの実施準備を進めた。

4 子どもの読書活動を支える人たち

(1) 文庫

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
文庫	家庭や地域の施設で、地域の子もたちに本の楽しさを伝えることにより、市内の子どもの読書環境を向上させる。	中央図書館	・活動日は設けたが、参加者が集まらなかった。 ・「東大和文庫連絡会」の定例会を月に一度程度開催した。 ・「東大和文庫連絡会」と市立図書館との共催で講演会を実施した。	継続	おおむね順調	・文庫の参加者が集まらなくなっている。 ・「東大和文庫連絡会」として市内の子どもの読書環境の向上のために活動した。

(2) 読み聞かせ・おはなしのグループ

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
読み聞かせ・おはなしのグループ	子どもが本やおはなしの世界に親しめるよう、各所で絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う。	中央図書館	・市立図書館や学校、保育所等での読み聞かせを行った。 ・各グループでの活動を通して人材育成を図った。	継続	順調	・各グループで活動を継続することができた。

(3) 学習グループ

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
学習グループ	子どもの本について学びを深めるとともに、市立図書館や学校等でボランティアとして活動する。 子どもの本についての研究を行い、子どもの本への理解を深める。	中央図書館	・ストーリーテリングや絵本の読み聞かせの勉強会を実施した。 ・子どもの本を題材とした読書会を6回実施した。 ・中央図書館で実施したわらべうたボランティアの養成講座の参加者による勉強会を開始した。	継続	順調	・各グループで活動を継続することができた。 ・新たにわらべうたの勉強会を開始することができた。

5 計画の進行管理

施策項目	取組目標	所管	令和5年度取組状況	目標	目標達成度評価	評価理由
計画の進行管理	計画を推進し、子どもの読書環境の拡充を図る。	中央図書館	・「第二次東大和市子ども読書活動推進計画令和4年度実施状況報告書」を作成した。 ・本計画に基づき市立小学校2・5年生及び中学2年生へ読書に関するアンケートを実施した。	継続	順調	・関係機関に調査を行い、報告書を作成することができた。 ・読書に関するアンケートを実施することができた。

東京
ゆったり日和



東やまと

第三次東大和市子ども読書活動推進計画
[平成5(2023)年度～令和9(2027)年度]
令和5年度実施状況報告書

発行 令和7年3月
東大和市教育委員会

編集 東大和市 教育部 中央図書館
〒207-0015
東京都東大和市中心3丁目930番地
電話 042(564)2454
FAX 042(564)2425